



園長便りひがし

令和8年3月2日
宮崎ひがし幼稚園
文責園長 花宮 伸利

ひな祭り

ひな祭りとは、3月3日の桃の節句のことで、女の子のお祝いをする日。女の子の健やかな成長や幸せを祈って、お祝いをします。雛人形は、子どもたちの代わりに病気や事故から守ってくれるとされています。そのため、女の子が元気で幸せになるようにお祝いやの気持ちや願いを込めて飾ります。昔は、紙で雛人形を作って、病気やけがなどのよくないものを持ってもらうように川に流す「流し雛」をしていたそうです。だんだんと雛人形が素敵なものになってきたので、今は飾ることが多いけれど、昔のように「流し雛」をしてお祝いをするところもあります。雛人形は、立春（2月4日頃）から2月中旬にかけて飾り、ひな祭りが終わったらできるだけ早くしまうのが良いとされています。関東などでは一般的に、お内裏様（お殿様）を向かって左、お雛様を向かって右に飾ります。古式を好む京都などでは反対に飾るところが多いそうです。ひなあられには、ピンク、白、緑の色があって、この色にはそれぞれ意味があります。 ・ピンク…生命 ・白…雪の大地 ・緑…木々の芽吹き この3色のひなあられを食べることで、自然のエネルギーを得て元気で丈夫に育つとされているそうです。

本年度もお世話になりました

本年度もいよいよ最後の月を迎えました。私も園長としてお世話になってきましたが、保護者の皆様にもいろいろご心配をおかけしたのではないかと感じています。1年間を振り返りますと、宮崎ひがし幼稚園は開園から53年を迎え一人ひとりが心身ともに健やかに成長できるように、職員一同遊びや生活を通して「夢」と「元気」と「自信」と「やる気」を育てるように取り組んできました。



【水遊び】



【運動会 組体操】



【お祭り参加】



【食育活動】



【豆まき】



【火災訓練】

その季節に応じた様々な体験活動を行ってきました。さらに、園内行事の充実はもちろんのこと育成牧場や、市民の森や科学技術館など市内への園外保育を行うことでより豊かな体験を子ども達にさせて来ました。また、年長さんになると就学前ということで講師の先生に来ていただいて楽しみながらひらがなや英語を学ぶ時間を作っています。さらに、年中さんからは体操の先生に来ていただいて体を動かすことの楽しさを味わっています。今後も豊かな環境の中で強く正しくのびのびと子ども達を育てたいと職員一同努力していきます。